

12 月 10 日：VN 指数は強い方向感なく推移 (VN-Index -0.14%)

- 昨日の穏やかな取引を引き継ぎ、本日の VN 指数は前日終値を少し下回って開始した。序盤はその範囲で変動した。
- 銀行セクターが本日のけん引役になると思われたが、次第に下落をし始めて市場全体の重しとなっていた。
- 後場では変動幅が広がって推移をしていたものの、売りが徐々に優勢となっていき、下落幅を拡大させたところで本日の取引を終えた。
- 不動産セクターが最も軟調に推移した一方で、情報技術セクターは堅調だった。
- 170 銘柄が上昇、223 銘柄が下落、80 銘柄が変わらずとなった。
- 流動性は 14.1%減の 14.4 兆ドンとなった。

VN30 指数はほぼ横ばい (VN-30 -0.02%)

- 大型株で構成される VN30 指数は、11 銘柄が上昇、17 銘柄が下落、2 銘柄が変わらずとなった。
- 現金配当の権利落ち日が迫る HDB (+3.70%)は本日大きく上昇した。
- VIC (-1.55%)、STB (-1.27%)は指数を引き下げた。

セクター・個別株の動き

- SBI ホールディングスは、来年 1 月末までに日本にある FPT(+1.70%)の AI データセンターへの出資を検討している。出資額は子会社の FPT Smart Cloud Japan の資本金の計 35%になる。
- BCM (+0.15%) と米ファンド Warburg Pincus の合併会社は、近々ベトナム市場で IPO を計画している。同合併会社は、既成の工場や倉庫を開発・賃貸しており、BCM はこれまでに 24.06%、4 兆 1,000 億ドンを出資している。
- 外国人投資家は 1,340 億ドンの売り越しとなった。FPT (+1.70%)が買い越し銘柄で目立っており、売り越し銘柄では MWG (-0.49%)が最大だった。

ディスクレイマー

このニュースは、投資の参考となる情報の提供を目的としたもので、投資勧誘を目的として作成したものではありません。投資に関する決定はご自身の判断でなされますようお願い申し上げます。このニュースは、信頼できると考えられる FiinPro という情報源に基づいて作成されていますが、その情報の正確性、完全性を保証するものではありません。このニュースは、Japan Securities Co., Ltd. (JSI)から直接提供するという方法でのみ配布いたしております。このニュースのいかなる部分も一切の権利は JSI に帰属しており、電子的または機械的な方法を問わず、いかなる目的であれ、無断で複製または転送等を行わないようお願いいたします。